

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

川崎市

（地域における現状・課題）

- ・平日の部活動と休日の部活動の円滑な移行に向けて、学校教職員、生徒、保護者、運営団体との連携をどう深めていくか。
- ・休日の部活動に伴う費用負担（保護者負担）に関する考え方の整理と保護者負担への理解をどう深めていくか。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：特定非営利活動法人高津総合型スポーツクラブ SELF

責任主体：川崎市教育委員会

活動場所：川崎市立東高津中学校（体育館、グラウンド）

活動種目：陸上競技※、バドミントン※、バスケットボール※、剣道、卓球

川崎市立高津中学校（体育館、グラウンド）※合同講習会で使用

※合同講習会も実施

指導者：地域指導者、企業スポーツ選手、大学生等

会費等：なし、200円※合同講習会参加費

移動手段：なし(学校での活動のため)、徒歩(合同講習会※近隣校のため)

保険：60,000円（団体総合補償制度費用保険）

（実践研究の成果）

- ・地域指導者に休日の部活動指導を任せることで、実践部活の顧問教員が、週休日を多く取得することができた。
- ・地域指導者を派遣することで、専門的な指導ができ、生徒の技能向上につながるとともに、部活種目が専門外の顧問教員の心理的な負担軽減にもつながった。
- ・派遣された地域指導者が、やりがいを持って部活動指導に当たることができた。
- ・教育委員会、受託団体、学校、顧問、保護者、生徒をつなげ、連携をとって円滑な運営を進めるために、コーディネーターの役割が非常に重要であるということが分かった。
- ・合同講習会の実施において、参加費200円程度での実施であれば、「安い」または「適正」と回答する生徒や保護者が多く、満足度が高かった。
- ・月4回の地域クラブの活動を想定した場合の参加費（月謝）については、家庭により適正金額の考えにばらつきがあることが分かり、種目、指導者の質、活動場所、家庭の状況によっても違いがあることから、参加費の適正金額の設定については継続課題となっている。

（運営体制図）

